

第35回宮崎県ミニバスケットボールチャンピオンシップ大会実施要項

1 大会名

第35回ミニバスケットボールチャンピオンシップ大会

2 主催

一般社団法人宮崎県バスケットボール協会

3 主管

一般社団法人宮崎県バスケットボール協会 U12 部会

4 後援

株式会社大阪フォトサービス 日本教育シューズ協議会 株式会社オンザコート

5 協賛

株式会社モルテン

6 目的

- (1) 小学生のバスケットボールの技術の向上と選手相互の親睦を図る。
- (2) 平成30年度の全国・九州大会に推薦権を得るチームを決定する。

7 期日

平成30年11月23日(金)、11月24日(土)、11月25日(日)

8 会場

早水体育館、佐土原体育館、アリーナ国富

9 大会役員

大会会長	北郷 純一郎
大会副会長	上元 康正 佐多 裕之 山川 裕彦
大会役員	米田 史彦 西田 次良 金本 博 谷山 祥一 栗栖 健治 佐藤 真司 石川 祐二 堀内 泉
大会委員長	河野 光治
大会副委員長	児玉 哲美 岩元 真史

10 競技役員

総務委員長	上米良 剛
財務委員長	福田 紀代美
接待委員長	北林 順子
式典委員長	外村 哲史
審判委員長	笠 真人
審判委員	児玉 晃太
TO委員長	川崎 健
TO委員	外山 和彦
競技委員長	浅利 敏彦
会場委員長	安藤 正弘
総務・競技委員	本藪 忠士 堀内 幸 岡田 美菜子 井上 華澄 久保 真幸 上園 真輝 谷口 友美 久木山 和愛 堀内 豊 酒井 朋弘 内山 大 岩切 勇二 安藤 美德 小泉 智貴 甲斐 修二 山川 和彦 富永 絃光

1.1 チーム編成

- (1) コーチ1人、アシスタントコーチ2人、マネージャー1人、保護者代表2人、選手15人以内とする。(但し、大会1週間前までに TeamJBA への登録申請済み選手とする。)(保護者代表はベンチには座れない。)
- (2) 男女混成及び10名未満のチームは出場できない。

1.2 競技方法

- (1) 県交歓大会での順位により出場チームと組み合わせを決定する。
- (2) パート内の順位決定方法は以下の通りとする。
①勝率 ②直接対決の結果 ③直接対決の得失点差 ④直接対決の得点数 ⑤総得失点差

1.3 競技規則

日本バスケットボール協会、ミニバスケットボール競技規則に準ずる。ただし、今大会には次のルールを用いる。

- (1) 6-1-6-(5)-6-1-6分とする。第4クォーター終了時に同点の場合は、2分後に3分間の延長を行う。それでも同点の場合は、勝敗が決定するまで、2分後に3分間の延長を繰り返す。
- (2) 男女混成チームの参加は認めない。
- (3) 当日の選手が10名に満たなかった場合、試合参加は認めるが、オープンゲームとする。
- (4) ゾーンDFは禁止とする。また、全試合、それを判定するためのコミッショナーをおく。コミッショナーは大会役員及び審判、各チーム指導者が行う。規則はJBAから出ている「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則る。
- (5) 試合中に立って指示をするものは、試合前にTOにコーチライセンスのIDを見せて、腕章を受け取る。腕章をつけている者だけが、試合中に立って指示をすることができる。腕章がない指導者は、立って指示することはできない。腕章を試合中に別の者に付け替えた場合は、ベンチテクニカルとする。
- (6) ベンチに入れるのは、指導者も含めて、メンバー表に書かれている人のみ。当日ベンチ入りする指導者や選手に変更があった場合は、TOと相手チームにメンバー表を提出して了承を得ること。

1.4 審判、TO

- (1) TOの際にはルールを熟知した指導者もしくは保護者が子どもたちの後方に必ず立って下さい。
- (2) 審判の配置は、県ミニ連審判部がその原案を作成し、県協会審判委員長の承認のもとに行う。
- (3) 1チームにつき1名、必ず帯同審判を出す。そのライセンスはD級以上、または、審判委員長がその技術を認めたE級とする。チームに該当者がいない場合は、そのチームの責任で前述のライセンス以上の帯同審判を依頼し確保する。なお、それらの帯同審判は、チームの勝ち負けに関わらず、大会全日程で審判ができる者に限る。
- (4) 今大会は、コミッショナーは、違反を審判に知らせるために、ホイッスルを使用することとする。(コミッショナーはホイッスルを準備して下さい。)

1.5 使用球

5号人工皮ボールを使用する。

1.6 経費

参加料は8,000円とする。チームの試合参加に要する経費はチーム負担とする。

1.7 参加申込

「参加申込」及び「参加料納付」については、TeamJBAのシステムより行う。

※ 指導者IDを登録していないチームは申し込みができませんので、必ずご確認ください。

1.8 代表者会議

代表者会議を以下の日程で行う。参加チームから代表者1名が必ず出席すること。

日時 11月3日(土) 18:00～

場所 生目の杜体育館会議室

参加するに当たっては、この大会要項を印刷して持参すること。

組み合わせは、サカイカップと秋季大会の結果を受けて、代表者会議で決定する。

19 頭部外傷対応

試合中に転倒等により頭部を強打した選手は、脳しんとうの恐れがある限り、当日のプレイはできないこととします。選手の安全のため、JBAより出ている「頭部外傷に関する注意喚起・対処について」をよく読んでおいてください。当部会のHPにもリンクがあります。

20 会場使用について

会場使用については下記のことを十分に注意することとする。

- (1) 体育館シューズ（バスケットシューズ）と外ばきのシューズは区別すること。くつの管理は、各チームで行うこと。
- (2) 体育館の二階から身を乗り出す、物を落とす等、危ない行為は絶対にさせないこと。
- (3) 各会場、指定された場所のみで応援すること。なお、鳴り物は禁止とする。
- (4) チームで出したゴミ（弁当殻、飲み物など）はチームで必ず持ち帰ること。**弁当殻を業者がとりに来るからといって、置いておくのも放置とみなします。**
- (5) 喫煙場所を厳守し、煙草の吸殻は適切に処理すること。（缶などの中に入れてそのまま放置しないこと。）
※ 弁当殻やごみ、たばこの吸殻の放置があった場合には、**故意ではなくとも没収試合となる場合があります。**
- (6) 大会初日と二日目は、駐車場は各チーム指導者を含め5台までとし、駐車券を発行する。駐車券のない自動車は他の駐車場を各自・各チームで確保すること。また、バス及びマイクロバスについては代表者会議で必ず申告して下さい。
- (7) 各会場の駐車場については、役員の指示に従うこと。
- (8) 試合中の水分補給は、必ずシート上の椅子に着席した状態で行う。また、水の入ったバケツのフロアー（ベンチを含む）への持ち込みは不可。
- (9) 駐車可能時刻を8時10分から。フロアーでの練習は会場準備ができ次第とする。
- (10) 業者によるチームの写真撮影は、自分のチームの試合前に行う。

21 その他

- (1) **暴力・暴言は厳禁。万が一あった場合は、指導者は即退場。その後、懲罰委員会の対象となる。**
- (2) 1位のチームは全国大会、1位と2位のチームは九州大会への推薦権を得るが、あくまでも本県協会・本部会が県代表として大会事務局に推薦するだけであって、最終決定は全国大会事務局や九州大会事務局が行う。全国大会・九州大会の参加申し込み等に不備がある場合、年度当初の登録に不備がある場合、大会事務局・本県協会・本部会の指導等に従わない場合は推薦を取り消し、他のチーム（本大会の上位チームから順に）を推薦することとする。
- (3) 大会パンフレットは作成しない。その代わりに、パンフレットのデータを出場申し込みのアドレスに返送するので、各チームで必要な部分を印刷して使用すること。
※ 掲載に当たり、各チームで、掲載することの了解を得ておくこと。
- (4) 大会の組み合わせは、申し合わせに則り代表者会議で決定する。
- (5) 参加チームはスポーツ障害保険に加入していること。選手のけがについては各チームで処理すること。万一、事故等が起こっても、主催者側は責任を負わない。
- (6) 本大会の上位2チームは宮崎県ミニバスチャンピオンシップ大会の出場権を得る。
- (7) 組み合わせ表の番号の若いチームが、淡色のユニホームを着用し、ベンチはTOに向かって右側とする。
- (8) 帯同審判は、必ず印鑑（シャチハタ不可）を持ってくること。
 - 審判は、その日のうちに審判謝金を受け取ること。（翌日以降は支払わない。）その際、旅費日当精算書に、氏名（自署）と住所を記載し、謝金と引き換えに受領印を押印すること。
- (9) 指導者またはチーム代表者は、来場したら各会場の本部で受付を行い、IDを受け取ること。
 - 受付の際に、帯同審判、コミッショナーの氏名を申告すること。
- (10) 当日の代表者会議を8：30～行います。

2.2 試合開始予定時刻

	23日(金)	24日(土)	25日(日)
第1試合	9:00～	9:00～	決勝リーグ 9:00～
第2試合	10:10～	10:10～	決勝リーグ 10:10～
第3試合	11:20～	11:20～	決勝リーグ 11:20～
第4試合	12:30～	決勝リーグ 12:30～	決勝リーグ 12:30～
第5試合	13:40～	決勝リーグ 13:40～	閉会式
第6試合	14:50～	決勝リーグ 14:50～	

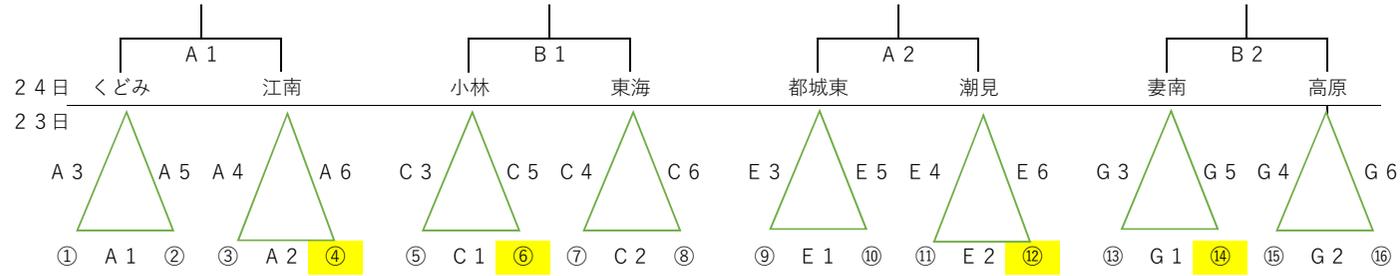
※ 試合が延びた場合、10分後に次の試合を開始する。そのため、予定時刻が変わることがあるので、延びた試合以降の各チームは注意すること。

※ 最終日25日は女子のゲームから始めます。

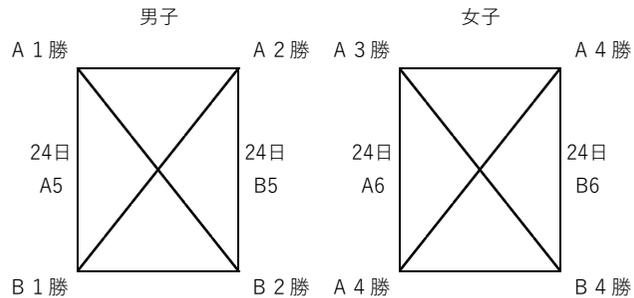
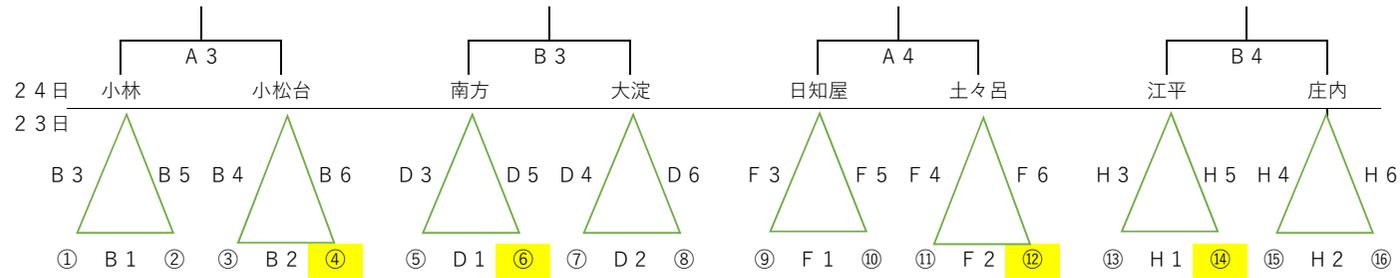
平成30年度 チャンピオンシップ大会

早水体育館A, B, C, 佐土原体育館E, F アリーナ国富G, H

男子の部



女子の部



	24日Cコート練習時間	25日Cコート練習時間
1、	9:00~	
2、	10:10~	8:40~9:10 (A 2)
3、	11:20~	9:20~9:50 (B 2)
4、	12:30~	10:10~10:40 (A 3)
5、	13:40~	10:40~11:10 (B 3)
6、	14:50~	11:20~11:50 (A 4)
		11:50~12:20 (B 4)
		12:10~12:40 (A 5)
		12:40~13:10 (B 5)
		13:30~14:00 (A 6)
		14:00~14:30 (B 6)

※ 25日の最終日は、女子のゲームから始めます。

平成30年度ミニバスチャンピオンシップ大会資料

1 ミニバスチャンピオンシップ大会の競技規則等について

- 2013年日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則による。
※「平成30年度ミニバスチャンピオンシップ大会実施要綱」に準ずる。

2 審判割り当てについて

- 初日は、リーグ戦方式により、各チームの帯同審判で運営していく。
- 出場チームは、審判ライセンスがD級以上の方を帯同審判とする。但し、2015年度までに日本公認資格を有していたE級の方は帯同審判として認められる。チームに、D級以上の審判がない場合は、各地区や知り合いなどを通して、帯同審判を確保する。旅費、謝礼、弁当代については各チームで決める。帯同審判についても、5台以内の車台数に含む。
※ 帯同審判用の駐車券はありません。相乗りしていただくか、チーム内で工夫してください。
- 割り当ての変更や交代等は勝手に行わないようにする。意見や相談等があれば、必ず審判長に連絡を行う。その後、会場の審判主任と協議する。
- JBA登録時、審判ライセンスE級の方を帯同審判に登録しているチームは、審判長に、誰をD級以上の帯同審判としたか、事前に連絡する。
- 11月24日については、外部審判員を招聘し、一部審判割り当てに考慮していく予定です。（帯同審判の方で、割り当てがない方もいらっしゃいます。ご了承ください。）
- 11月25日については、外部審判員を招聘し、原則、B級審判員を割り当てていきます。（帯同審判で、割り当てがある方もいらっしゃいます。）

3 審判員の方へのお願い

- (1) 活動方針「尊重」「導く」「学び続ける」のキーワードに則りお願いします。
- (2) 今大会の重点目標も、「ベンチ管理」です。
- (3) 審判やテーブル・オフィシャルズ、相手チーム、自チームに対し、失礼な態度で接したり、言動などがあつたりした場合などはテクニカルファウル、または、ディスクオリファイングファウルを宣してください。

(例)

- 子どものミスなどに対し「馬鹿」「アホ」「ボケ」などの人権を無視した言葉を発した時
- 試合中、子どもを呼び寄せたり、近寄ったりして、子どもに対し恫喝した時
- 殴るような真似をしたり、力づくで恐怖を与えたりした時

<手順>

- 1 不適切な表現や言語があつたことを審判員が見聞きした
- 2 見聞きした審判が、ゲームクロックが止まった時、または、レフェリータイムをとってゲームクロックを止めた時に、テクニカルファウルもしくは、ディスクオリファイングファウルを宣する。
※ 二人の審判員で話し合い、テクニカルファウルまたは、ディスクオリファイングファウルを宣してもよい。

3 ゲーム終了後、不適切な言動や行為があったことを、理事長及び審判長に報告し、その後、懲罰委員会の対象となる。

※ 今後、県大会のみならずローカル大会でも適用していきます。

- (4) タイムアウト後、50秒経過の合図で選手を送り出してください。60秒経過の合図で試合が再開できるようにします。 試合前、各ピリオド間は、スタートチェックをスムーズに済ませ、ブザーが鳴った時には、試合が開始できるようにします。明らかに遅い場合は、主審は、一度警告します。 引き続き守れないようであれば、タイムアウトが残っていればタイムアウト、タイムアウトが残っていなければ、テクニカルファウルという処置をお願いします。

4 指導者の方へ

- (1) 子どもはミスしたくて、ミスしているわけではありません。子どもには、失敗する権利があります。 完璧なプレイヤーはいません。挑戦したことに対して、指導者は、認め、励ましましょう。恫喝などして、子どもを委縮させるようなことは、自分のコーチングテクニック、ティーチングテクニックがないことを表しています。
- (2) SNSなどが進化している時代です。周りの誰が見ても、気持ちの良い試合になるようにしましょう。 そのためにも、みんなで声を掛け合い、駄目なものは駄目という考えのもと、声を掛け合っていきましょう。指導者のみなさんを守るためでもあります。
(会場責任者、審判主任など県役員の方々、よろしくお願いします。)
- (3) 「これまでの指導不足」と自分の責任にすることで、課題に対する解決策を考え、指導に生かすことができます。自分にとっても子どもにとってもWin-Winです。

5 連絡事項

- (1) B級審判員の方へ
- フィットネス及びルールテストは、11月の宮崎県U-12チャンピオンシップ大会及び地区対抗戦で行う予定でしたが、既に県の審判長からメールがあった通り、統一で行われます。11月10日または、1月12日に行われるルールテスト、フィットネステストに参加してください。

指導者のための5つの心得

常に自己評価を
忘れずに！

1 敗戦はあなたの責任です

敗戦をプレイヤーや審判のせいにすることなく、冷静に課題をみつけましょう。向上心を忘れず謙虚な気持ちで指導にあたきましょう。

2 体罰、言葉の暴力は厳禁です

全指導者で、体罰・暴言を根絶しましょう。指導者同士で注意し合える関係づくりに努めましょう。

3 子どもの将来を考えた指導に心がけましょう

小学生の時期は、頭も体もおおいに成長します。技術に加え、適切な判断力や行動力、マナーを指導しましょう。

4 選手をたくさん褒めましょう

プレイヤーは不安や緊張の中でプレイしています。結果ばかりに注目するのではなく、何かにトライしたことを褒めてあげましょう。

5 審判のレベルアップに貢献しましょう

Good Minibas には審判の育成が不可欠です。指導者がルールをよく学習し、審判活動にも進んで取り組みましょう。

